

2013 年度東海地区協議会研究会運営委員会 第 4 回議事録

日 時 : 2013 年 10 月 1 日(火)14 時 00 分～17 時 00 分
場 所 : 金城学院大学図書館
出席者 : 太田(名古屋芸術)、伏見(名古屋経済)、小木曾(愛知)、八鳥(名古屋外国語)、
広田(中部)、木村(愛知学泉)、田中(金城学院)、天野(椋山女学園)、
水谷(東海学園)、松原(中部学院)、石田(南山)、中田(名古屋学院)、
山田(名古屋学院)、(中村(名古屋芸術:主幹事校 事務担当))
欠席 : 立野(名古屋芸術)、柴野(名古屋商科) 敬称略

議題

1. 第 2 回研究会について

中田委員長より、無事終了した事に関してのお礼と、参加者アンケートの集計結果(事前回覧済)について、概ね良い評価を受けたとの報告があった。

2. 研究会講師謝礼について

中田委員長より、研究会の講師謝礼について改めて規約(別紙)の説明があった。これに基づき、今年度研究会のワークショップ講師を務めた天野委員に対する講師謝礼支払いの提案があり、これを承認した。

3. 見学会について

伏見委員よりスケジュール等について説明と確認があった。

- ・見学会担当委員は集合時間より早めに現地到着、待機して受付準備をする。手土産、名札ケースは委員長校が用意し持参する。
- ・調査希望項目(参加者から募ったものを含む)をまとめて千葉大学に提出済みの資料に、見学会開催案内を付けて、10月3日に全参加者宛に送付する。

4. アンケートについて

八鳥委員より資料に基づき説明があった。

基本的に第 2 回研究会のポスターセッション用に作成したスタイルを使用、見本も同じくポスターセッション募集時に添付した名古屋商科大学のものをそのまま流用する。

『館灯』掲載時に縮小されることを考慮して、文字のポイントを指定、またモノクロ印刷であることを明示する。

見学会通知発送(10月3日)以降に送付、10月末日締切とする。

5. ウェブサイトについて

石田委員より、東海地区協議会ホームページのリニューアルが終了したとの報告があり、具体的な変更内容の説明があった。

『館灯』のデータ掲載スタイルについて、よりコンパクトに表示する提案があり、これを了承、理事校に確認後変更することとした。

6. 『館灯』について

太田委員より、9月24日締切で募集した『館灯』52号掲載論文・記事に、1件投稿希望ありとの報告があった。

送付冊数については、12月に実施する名簿確認時に、今回より各館1冊送付とし複数冊希望の場合は連絡してもらうよう案内することとした。

7. 実務担当者研修会について

水谷委員より、事前の担当者会議にて作成した案について、資料に基づき説明があった。各項目について協議した結果、下記のとおり準備を進めていくことになった。

①日 時 2014年9月初旬の2日間 <日帰り> ※講師の都合により決定

②会 場 名古屋学院大学白鳥学舎

③対 象 本協議会加盟館に勤務する実務担当者

④テーマ 学修支援のために今できること

⑤内 容 [第1日目] 午前 講演
午後 グループワーキング
[第2日目] 午前 グループワーキング
午後 全体会

・グループワーキング

4グループで実施する。大まかなテーマと担当を以下の通り決定した。

- (1) ガイダンス 担当：柴野、水谷
- (2) 空間の演出力 担当：大田、広田、田中
- (3) インターネット 担当：木村、伏見、石田
- (4) ビブリオバトル 担当：天野、松原、小木曾

詳細は各担当者と講師で調整する。すでに候補に挙がっている講師については委員長が依頼する。

次回、第5回運営委員会は、12月9日(月)14時から、南山大学図書館にて開催する。

以上

記録者：山田